

第2回三木市教育振興基本計画検討委員会 意見要旨

1 開催日時

令和7年8月25日（月） 午後7時～午後9時

2 開催場所

三木市中央公民館 4階 大ホール

3 意見要旨

(1) 「第4期三木市教育振興基本計画」の策定に向けたこども等を対象とした意見聴取（アンケート）の実施について

（主な意見）

- 中学校部活動の地域クラブへの展開についての説明会が吉川町公民館でも開催されたが、参加者が非常に少なかった。

市の職員が説明に来てくれたのに、「もったいない」と感じた。自分には関係ないということではなく、もっと関心を持ってほしい。

- 保護者のアンケートについて、関心がないからであるのか、あるいは、忙しいからであるのか、7割程度が回答していない。

アンケートに回答していない人の意見を掘り起こすことができれば、よりよい計画となるのではないか。

- アンケートの結果について、小・中学生の保護者は仕事や暮らしに役立つ知識やスキルを学ぶことへの関心が高い。

こうした結果は、今後、公民館で企画を行う際の参考となるのではないか。

(2) 「第4期三木市教育振興基本計画」（素案）について

（主な意見）

- 「未来を創る学力育成三木モデル」事業の取組がようやく学校の中でも進んできていると実感している。

子どもたちの学力の向上やタブレットの活用について、計画に

うまくまとめられている。

- 「情報活用能力等の実態把握」における評価指標（19 ページ）
に関し、三木市独自で調査した結果を用いることは、毎年度の点
検・評価を行うに当たって一貫性のある評価ができ、ありがたい。
- 学校では、子どもたちに、見知らぬ人に声を掛けてはいけない
という指導をされているようであるが、青少年補導委員や人の
目の垣根隊など、子どもたちを助けてくれる人がいるというこ
とも指導してほしい。
- 豊かな心の育成の部分に、人間関係づくりのためのコミュニ
ケーション能力の内容が含まれていてもよいのではないか。
また、関係機関との連携の強化の部分での縦割り行政の解消
についても計画で触れてほしい。
- 「教育・保育の指導者」（24 ページ）とは誰のことであるのか
が分かりにくい。
また、基本施策Ⅱのうち、就学前施設でも実施している取組
については、「学校」ではなく「学校園」と記載してほしい。
- 課題を抱える子どもたちについては、守秘義務の関係から全
てを共有することが難しい事案もたくさんあるが、困難事例な
どは情報共有しながらしっかり体制を整えて取り組んでいる。
- 学校園は地域の大事な教育資源であり、これから学校園での
地域クラブ活動が出てくることも見据えながら、施設整備が進
んでいけばよいと思う。
- 三木市は、他のまちと比べても社会教育が非常に進んでおり、
こうしたことが子どもの教育にも影響を与えている。
また、小・中学校の教育が非常に充実しており、これを失くさ
ないようにお願いしたい。

- 防災教育により中学生が正しい知識を身に付け、避難所を開設するような際には、中学生もその知識を発揮してほしい。
- 評価指標として具体的な人数を設定したり、アンケートの率を設定したりしているが、指標の取り方については全体的にどうすべきか、もう少し考える余地があるのではないか。
- 中学校部活動の地域展開や自治会など、地域活動の担い手の確保について、行政が後押ししてほしい。